

平成 21 年度学力向上を図るための調査報告書に対する考察

平成 21 年度 上一色小学校

1, 問題を発見する力(各教科や総合的な学習の時間の学習において)

- 与えられた情報を分析・考察して、その状況において解決が必要となる問題を見付けることができる。

総合的な学習の時間における問題発見の場面において、2枚の写真を比べて問題を見いだす。

東京都比 - 1% 江戸川区比 - 0.6% ※やや問題あり

問題の発見に当たっては、複数の情報を比較・関連付けて共通点や相違点などを見いだす力が重要である。

事象を読み取る観点を明確にし、共通点や相違点を読み取らせること。

読み取りの過程において、問題意識をもたせること。

児童自らが問題を発見する場面を設定するとともに、設定する問題について吟味・

検討させること。

こういった活動が大切である。

2, 見通す力(各教科や総合的な学習の時間の学習において)

- 与えられた情報を分析・考察して、問題を解決するための方策や結果の予想を考えることができる。

バスの料金について考える場面において、割引制度によってバスの料金がどのようになるのかについて結果の見通しをもつ。

東京都比 - 22% 江戸川区比 - 21% ※問題あり

見通す力を育成するためには、結果を予想することと、予想したことについて互いに情報を交換することが必要である。そういった活動を継続して行い、経験を積み重ねていくことが、予想し情報交換する習慣を身に付けさせるために大切である。

3, 適用・応用する力(理科の学習において)

- 既にもっている知識・技能等を活用するとともに、新たな分析や判断も加えて問題を解決することができる。

キャンプファイヤーの事前準備の場面において、理科で学習した電気の回路についての知識と実験結果から結論を考察する能力を用いて、懐中電灯がつかない原因について考え、適切に判断する。

東京都比 - 7% 江戸川区比 - 2% ※やや問題あり

問題を解決する力を育成するためには、観察・実験の方法について、児童自らが考える場面を設定することが必要であり、児童の発達段階や実態を踏まえて段階的な指導を行っていくことが重要である。

考察する力を育成するためには、児童一人一人が観察・実験から明らかになる範囲を明確にして、どのように考察を行い、表現するとよいのか適切な指導をする必要がある。

4, 適用・応用する力(国語科の学習において)

- 既にもっている知識・技能等を活用するとともに、新たな分析や判断も加えて問題を解決することができる。

社会科の学習での話し合い活動の場面において、国語科で学習した「目的に応じて話し合う」ことを用いて、進行係として話題が目的からずれていることに気付き、話し合う内容を修正する方法について考え、適切に判断する。

東京都比 + 13% 江戸川区比 + 9% ※良好

5, 適応・応用する力（社会科の学習において）

- 既にもっている知識・技能等を活用するとともに、新たな分析や判断も加えて問題を解決することができる。

ハイキングコースを決める場面において、社会科で学習した地図上の等高線と方位についての知識を用いて、ハイキングマップにあるコースの中で、条件に合うコースと正しいコースの紹介文を考え、適切に判断する。

東京都比 - 19% 江戸川区比 - 12% ※問題あり

社会的事象を観察、調査したことを理解し活用できるようにするためには、収集した情報から必要な情報を的確に選択し、問題を解決していくといった学習活動の工夫が必要となる。また、資料活用場面においては、児童が読み取る視点を明確にもてるような指導の工夫も必要となってくる。そういった学習を通して基礎的な技能を確実に習得させ、日常生活において実際に活用できるようにしていくことが大切である。

6, 意思決定する力（各教科や総合的な学習の時間の学習において）

- 複数の条件を理解し、その条件に適切に対応して判断し、問題を解決することができる。

家の留守番をする場面において、親からの依頼と本人の考えという複数の条件を理解し、それらの条件に合った予定表を考え、適切に判断する。

東京都比 + 29% 江戸川区比 + 38% ※良好

7, 表現する力（各教科や総合的な学習の時間の学習において）

- 問題の結論やその根拠を明確に表現したり、問題の解決の方法（筋道）を適切に表現したりすることができる。

デパートで迷子の子供の面倒をみる場面において、事実を基にして店員に状況を説明する内容を文章で、適切に表現する。

東京都比 + 1% 江戸川区比 + 3% ※概ね良好

8, 適用・応用する力（算数科の学習において）

- 既にもっている知識・技能等を活用するとともに、新たな分析や判断も加えて問題を解決することができる。

算数科で学習した、目的に応じて単位や計器を選んで測定することを用いて、一日に家庭で使われる水の量がどのくらいなのかについて考え、適切に判断する。

東京都比 + 7% 江戸川区比 + 13% ※良好

平均

東京都比 ± 0% 江戸川区比 + 3%